

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新王子病院新築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市八幡西区鉄王2-1-1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	60人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 0.0	評価の実施日	2013年2月22日
敷地面積	8,702 m ²	作成者	(株)メドックス
建築面積	2,538 m ²	確認日	2013年2月25日
延床面積	6,236 m ²	確認者	(株)メドックス



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>自然の光・風などできるだけ自然の恵みを取り入れ、ここに来る全ての人が心地よく感じる空間をめざした。視覚や触れることからより感じ取れるようにインテリアは淡い色彩やナチュラルな素材とした。</p> <p>省エネ側からは太陽光発電、Low-eガラス、放射空調システム、屋上緑化などをとり入れた。</p>	<p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>Low-eガラスによる遮断断熱効果、庇やバルコニーによる日射遮蔽と拡散導入、自然換気促進</p> <p>吹き抜けによる自然光利用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>透析患者に対する放射空調システム、最新ガス機器による発熱量の低減</p> <p>内装材、ソファックス床・消臭壁紙材仕様</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>屋上緑化</p> <p>外構 境界廻りに高木低木</p> <p>空冷ヒートポンプエアコン使用</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光発電、自然換気 放射空調システム 吹き抜けによる自然光利用 LED照明器具</p> <p>全熱交換機による排熱利用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>Low-eガラスによる遮断断熱効果、庇やバルコニーによる日射遮蔽と拡散導入、自然換気促進</p> <p>吹き抜けによる自然光利用</p> <p>太陽光発電</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>屋上緑化</p> <p>外構 境界廻りに高木低木</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい